

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和3年9月30日(木)16時25分～18時00分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

審査グループ 研究炉等審査部門

北條主任技術研究調査官、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、

加藤原子力規制専門員

検査グループ 核燃料施設等監視部門

宮坂原子力運転検査官

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長

安全・核セキュリティ統括部 安全・核セキュリティ推進室 マネージャー

再処理廃止措置技術開発センター 廃止措置推進室長 他11名

#### 5. 要旨

○国立研究開発法人日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）から、東海再処理施設の廃止措置に係る検討状況について、配付資料及び令和3年9月22日に実施した面談において配付された資料（以下「令和3年9月22日面談配付資料」という。）に基づき説明があった。

○原子力規制庁より、以下の通りコメントを伝えた。

（資料1について）

- ・工事期間中においても事故対処等に支障が生じることの無いよう、アクセスルート等の管理等を確実に実施すること。

（令和3年9月22日面談配付資料1について）

- ・工程洗浄において環境へ放出される放射性廃棄物の評価方法については、資料を精査の上、後日改めてコメントを伝える。

（令和3年9月24日面談配付資料2について）

- ・撤去するとしている液体窒素設備が閉じ込めバウンダリに含まれないことについて、逆止弁の位置や運用管理の方法を整理して詳細に説明すること。

○原子力機構より、了承した旨返答があった。

○また、原子力機構より、令和3年9月14日に提出のあった東海再処理施設に係る廃止措置計画変更届に係る変更内容のうち、屋内消火栓配管のエルボの肉厚の変更については、JIS規格の変更によるものではなく、誤記修正のための記載の適正化である旨説明を受けた。

## 6. 配付資料

(今回配付資料)

- 資料 1 東海再処理施設の安全対策の実施に係る全体スケジュールについて
- 資料 2 工程洗浄の方法について
- 資料 3 再処理施設の廃止措置計画(安全対策)の変更に伴う保安規定の変更について
- 資料 4 ガラス固化技術開発施設(TVF)における固化処理状況について
- 資料 5 東海再処理施設の安全対策に係る面談スケジュール(案)

(令和3年9月22日面談配付資料)

- 資料 1 工程洗浄において環境へ放出される放射性廃棄物及び放出に対する取り組みについて
- 資料 2 クリプトン回収技術開発施設 液体窒素貯槽の津波漂流物対策について

## 7. その他

参考：[国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 核燃料サイクル工学研究所 再処理施設に係る廃止措置計画変更届出書\(令03原機\(再\)023\)](#)